

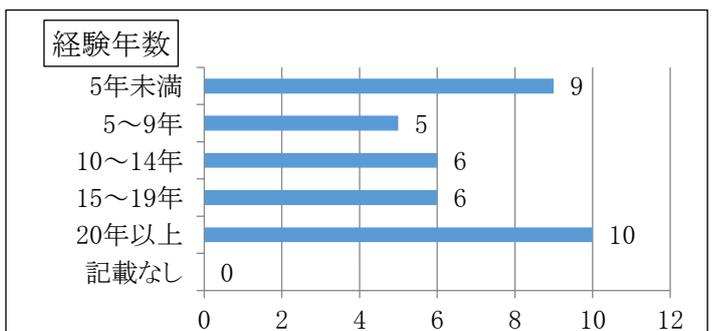
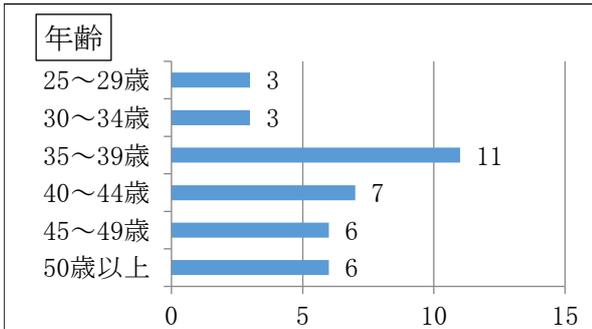
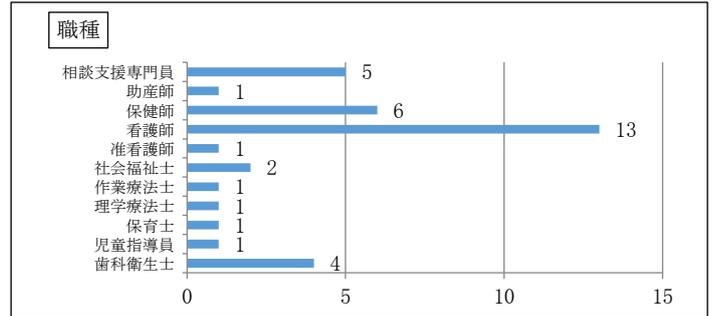
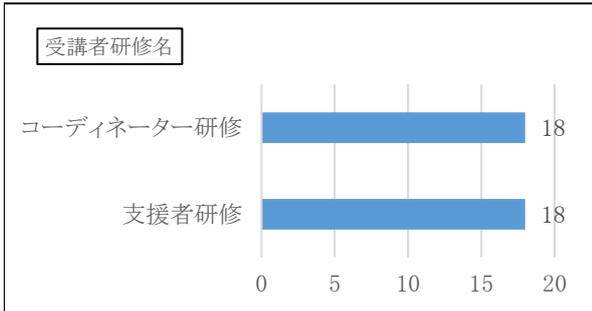


1. 医療的ケア児等支援者・コーディネーター合同研修アンケート結果

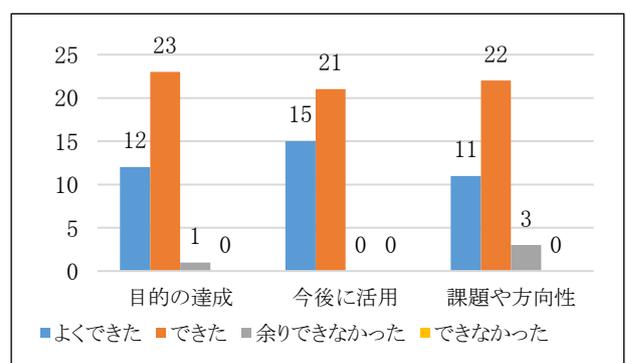
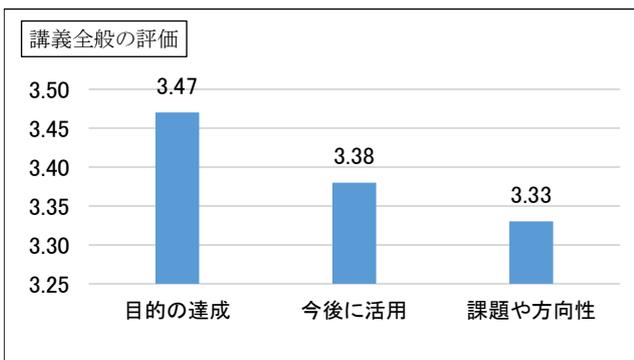
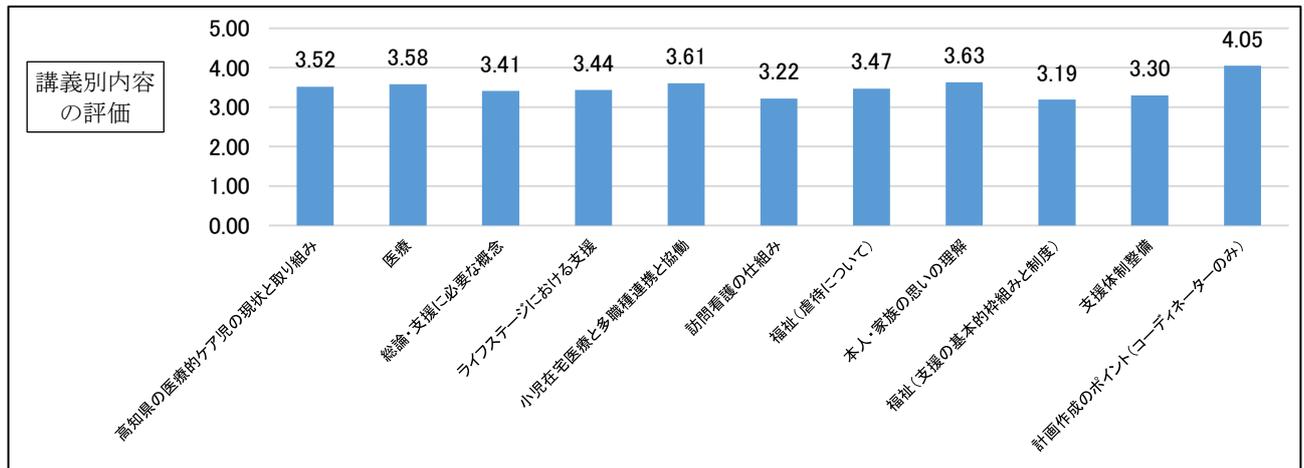
実施日 令和5年 12月5日～6日

回答数 36名

回収率 85.7%



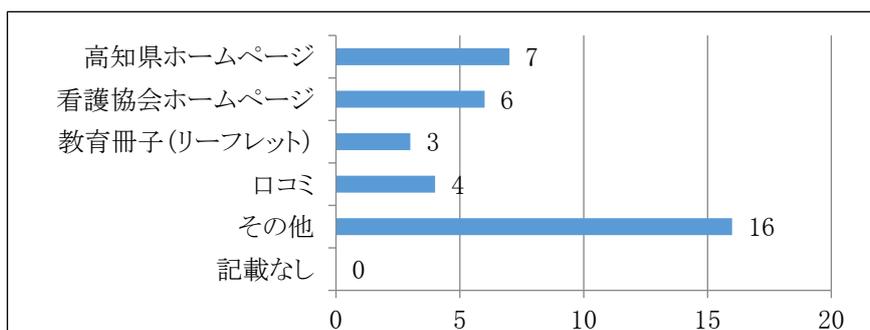
2) 研修内容について



②あまりできなかったを選択した理由

- ・内容が複雑で理解するのに時間がかかると思う。わかりにくかった。

### 3) 研修を何で知りましたか(複数回答可)



#### その他の内容

- ・上司からの勧め 9名
- ・高知市からの情報提供メール 3名

### 4) 研修に参加した目的 (抜粋)

- ・医療的ケア児に関わることがあるため
- ・医療的ケア児等コーディネーターとしての役割を理解し、支援に生かすため
- ・保育園で看護師として従事しています。今後医療児童が入所されてきたとき、どんな支援が必要か、私に何が出来るのか、準備をしておきたかったので、参加しました。
- ・医療的ケア児の理解を深めるため
- ・普段は高齢者に関わる事が多く、医療的ケア児さんの知識が少ないため
- ・部署教育
- ・地域に医療的ケア児がいるため。
- ・今後のサービス拡充に向けた準備など
- ・医療的ケア児や家族への支援について、知識を深めるため
- ・職務に活かすため
- ・医療ケア児について詳しく学びたかった
- ・スキルアップ
- ・地区に医療的ケア児の方がおり、支援に関わっている、また母子保健コーディネーターとして職務にあたっているため
- ・医療的ケア児の受け入れ体制を作るため
- ・業務内容の向上
- ・医療的ケア児に特化した研修はなかなかないので、より深く医療ケア児について学びたかったから
- ・NICUから在宅支援 児の緩和ケアやレスパイト運営 乳房ケア 新生児訪問経験を持ったそれらの経験をもとにハイリスク児や医療ケア児を持つ家族に父子母子分離中から産後ケアを届け生命不安や在宅移行への不安軽減をお手伝いできたら また 医療と地域を県下隔々で繋いで行けたらと考えたから
- ・現在小児科病棟混合の部署で働いており、今後の転職時の参考にするため
- ・地域の医療的ケア児等コーディネーターとして務めるため
- ・在宅支援の知識向上
- ・上司のすすめ
- ・医療的ケアの知識がなく、今の仕事をしていたので、基本的な知識を習得したかったため
- ・NICUで勤務している中で医療的ケア児と関わりがあり退院に向けた他職種の連携を学ぶため

## 5) 意見・感想（抜粋）

・私自身も重症心身障害児(ダウン症5歳)を育てる当事者です。医療的ケアはないものの、重度知的障害で、ようやく歩き始めたところです。これからの成長が楽しみでもあり、不安もあります。講義を通して今までの経験を振り返り、これからを見据えることができた。

・実際の事例を知ることができてよかった。

・全く医療的ケアについての知識がないまま、医療的ケア児に関わっていました。ケア児の身体や人工呼吸器をみていましたが、本人の気持ちとか本人にとって何が良いかを考えて、多職種がそれぞれの得意分野を活かして協力しあって関わっていることを学びました。多方面からの意見や、特にご家族の思いを聞いたことが良かったです。今、関わっているケア児や家族に当てはめながら研修を受けました。自分がみていること以外の周りのことも少し分かったように思います。

・どの講義の内容もすばらしく、目からうろこの内容でした。虐待や医療児童についてまた地域での支援やいろんな制度などもよく理解できました。この内容を学んだだけでなく、実践で生かすことができたらと思っています。

・大変勉強になりました。在宅医療に関する研修があればまた参加させて頂きたいです

・2日間ありがとう御座いました。職業として30年以上、障害者歯科診療20年以上、天使の翼プロジェクト参加もさせて頂いた経験もありますが、医療、教育、福祉の支援体制、地域共生社会として学ぶ事が無くもう数十年。2023年障害者歯科学会では医療的ケア児の演題があり医療的ケア児等支援者養成研修テキストが歯科の分野が入った改訂テキストが出されるのではとお聞きしました。歯科の分野からも支援が少しでも出来ればと思っています。よろしくお願い致します。講師の皆様お疲れ様でした。色々な学びがありました。

・佐川町の田元さんの講義が良かったです。ケースバイケースかと思いますが、急性期でない方で家族が家でみれない方が入れる入院先や施設の空き状況(県下)など知りたいと思いました。講義中に聞き取れていなければすみません

・医療的ケア児の実際のサービスや自宅での様子家族との関係がわかりとても勉強になりました。これから関わろうとする色々な職種のひとにとってとても実になる研修でした。有難うございました。

・どの先生も分かりやすかったです。保護者の方の発表も勉強になりました。ありがとうございました。

・ほとんどの方は良く聞こえましたが、早口で聞き取りにくい方もいたので改善してもらいたい

・盛りだくさんの研修内容ありがとうございました。受身の研修だったので交流が持てず残念でした顔の見える関係作りの機会になればもっと良かったのではと思います。本に書いてある内容を読むだけでなくもう少し具体的に講義頂ければと思う研修もありました。医ケア児家族自身のお話もお聞きできありがたかったです。ただ精神的にご負担もあるのではとも思い恐縮でした。私は相談支援員ではないのでこの研修を受講していいのかと考えました

・自分の知らない情報や支援、サービスを知る事ができました。ありがとうございました。

・現在医ケア児の子どもさんに関わっているので、講義内容を照らし合わせながら聞くことができ、とても参考になりました。ありがとうございました

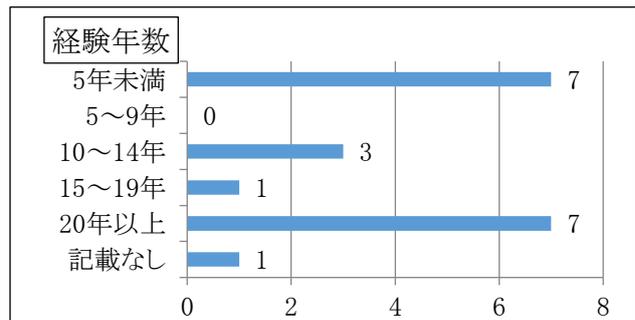
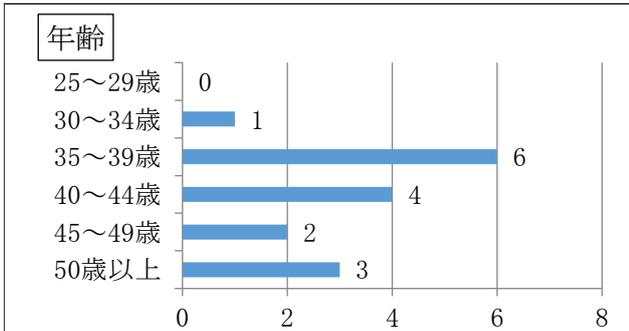
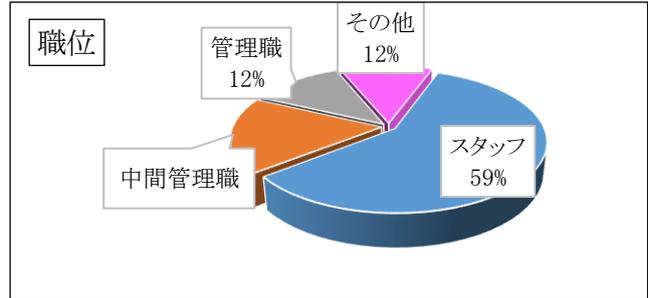
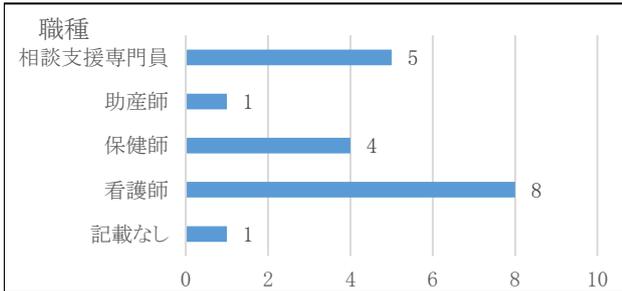
・地域で暮らすために、今あるサービスの工夫や具体例がとても参考になりました。

・全く医療的ケアについての知識がないまま、医療的ケア児に関わっていました。ケア児の身体や人工呼吸器をみていましたが、本人の気持ちとか本人にとって何が良いかを考えて、多職種がそれぞれの得意分野を活かして協力しあって関わっていることを学びました。多方面からの意見や、特にご家族の思いを聞いたことが良かったです。今、関わっているケア児や家族に当てはめながら研修を受けました。自分がみていること以外の周りのことも少し分かったように思います。

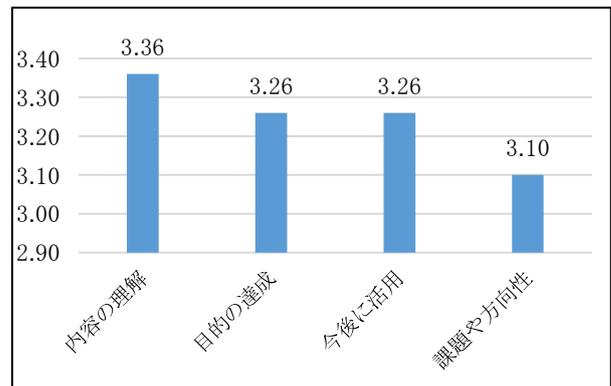
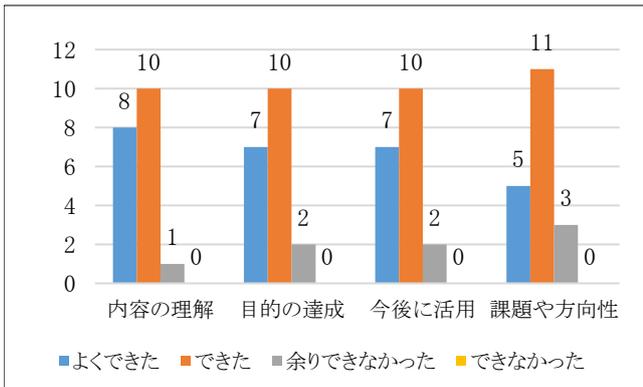
## 2. 医療的ケア児等コーディネーター研修(演習) アンケート結果

実施日 令和6年 1月18日～19日 回数数 19名 回収率 82.6%

### 1) 受講者背景



### 2) 研修内容について



### 3) 意見・感想（抜粋）

- ・貴重な機会をいただきありがとうございました。直接、相談支援業務に関わる予定のない方の参加が、高知県のコーディネーター数として反映されていくことに疑問は感じます。また、病院ソーシャルワーカーの参加がなかったので、退院時カンファレンスに私たち福祉関係者が呼んで貰えるようになるのか心配です。おいでになっていた医大、医療センターの看護師さんにせいぜい福祉をつかうなら、障がい福祉課を呼んでほしいことを伝えさせていただきました。
- ・GWでここはできるあそこはできない等サービスありきの検討になる事が多かった。計画立案もこう書くべき論に終始したファンリテーターも家族の思いをいれると複雑になるから絞って等の助言があり、地域サービス情報交換の雑談となっていた。計画立案ありきでなく多角的ニーズ等の抽出深掘りができれば良かった。アンケートは1日1日取って頂いたら修正できるのではないのでしょうか。医ケアとなる可能性のある児により早期からコーディネーターが関われる体制があれば尚良いと感じた。今後とも基本相談支援をする機会の多い立ち位置を活かし活動していきたい。
- ・看護師さんが多いグループで、医療に傾きがちなプランを自分は子どもの発達過程を大事にしたいと発言出来たのは良かったが、専門性の違いは肌で感じた。どの立場でも、子ども主体で、子どもに寄り添った計画を立てサービスを遂行出来る人材でありたいと思う。
- ・普段から福祉に関わる機会が少なく知識も浅いので、知らないことがたくさんあり勉強になりました。
- ・病院や病棟、患者によると思いますが、病院側も在宅を見据えて支援を行なっているため、そのことを前提として研修を開催してほしいです。それぞれの職種の立場からのコーディネートになると理解しました。目指す所は同じでも、多方向からの役割がもっと具体的に理解できると、即実践につなげる事ができると思いました。
- ・横田信也先生の講義を受け、医療ケア児等コーディネーターの役割が少しですが理解することが出来た気がします。横田先生が冒頭に「たくさんを終了者はいるが、実際に関わっている人は限られている」と話された言葉が心に残っています。今回の研修を実践に繋げられるよう努力していきます。長時間に渡りありがとうございました。フォローアップ研修を心待ちにしています。
- ・相談支援専門員等普段協働する機会がない職種の方の意見をたくさん聞くことができ勉強になった。

### 3. 研修担当者からのコメント

本年度もオンラインと集合での研修方法で開催した。本年度は、歯科衛生士の受講が初めてあり、医療的ケア児への関わりが多職種へ広がっていると感じた。コーディネーター研修演習では、当協会への集合研修を実施した。それぞれのセッションでは意見交換が活発に行われ医療的ケア児等コーディネーターに必要な心得について受講生皆が共有することができた。